

「第2次各務原市シティプロモーション戦略プラン(案)」に関する
パブリックコメント(意見公募)の実施結果について

人口減少、少子高齢化の急速な進行が予測される状況において、各務原市が選ばれるまちとなるよう「第2次各務原市シティプロモーション戦略プラン(案)」を公表し、皆さまからの意見を募集するパブリックコメントを実施しました。

その結果、1名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は以下のとおりです。

提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で、市の考え方を示しています(順不同)

◆実施期間

令和3年2月1日(月曜日)～2月22日(月曜日)

◆意見の提出状況

提出者数 1名

いただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	24、 25、 35	アクションプランの重点箇所を「つなぐ」ことができると思います。 1つの案としては、まずSDGsの取り組みにも絡め緑豊かな各務原をPRすべくゼロカーボンシティ表明するなどして積極的な脱炭素推進を前面に出すことで一歩進んだ良環境な町をPRしてはどうでしょうか。 このため、「つなぐ」施策としてEVバスの導入などをご検討されてみてはどうでしょうか。	第2次シティプロモーション戦略プラン(案)では、価値共創や、まちと人が継続的に関わる中で生まれるプロモーションなど、人を中心に据えたプロモーションを基本の方針に掲げています。アクションプランについては、令和3年度に予定している事業のうち、上記方針に合致する事業を掲載しているため、今回いただいたご提案については、貴重なご意見として承りますが、本プランへの反映はいたしません。
2	33、 全体 (総論)	空き家や高齢者見守りも大きな課題と認識しています。上記に記載のとおりカーボンニュートラルを目指した近未来のまちづくりを積極的に推奨すべく「スマートグリッド」のモデル地区を検討してはどうでしょうか。	

3	27	メディアでも「無人島脱出」など人気番組により火おこしをはじめ「生きる」ために必要な知恵が子供たちの関心を呼んでいます。このため自然体験については、火おこし、浄水法などをはじめとした事前の力を活用した活動に目を向けることで関心が高まるのではと考えます。	自然体験塾では各務野自然遺産の森に生息する鳥や虫、貴重植物など、この森ならではの題材を取り上げて講座を実施しております。いただいたご意見は、今後の講座運営の参考とさせていただきます。
4	30	学びの森は多くの方を集客できるポイントとして認知されています。エリア拡大や商業施設の併設など更なる活性化が見込めると考えるため、ぜひとも最重要ポイントとして今後も先を見た展開を期待します。特別支援学校の移転によりその施設スペースを有効活用、学びの森北西エリアをコンサートブースへ改良などにより更なる展開が期待できないかと思料	特別支援学校の移転後の校舎等の利活用については、今後市全体で総合的に検討をしてまいります。